

平成23年度 調布市立第一小学校 学校経営計画

学校教育目標

◎よく考え 自分から進んでやりぬく ○思いやりの心もち なかよく協力する ○じょうぶなからだで 明るい生活をする

目指す学校像(ビジョン)

- ① 楽しく学び、確かな学力が身に付く学校
- ② 人権や個性が尊重され、一人一人が大切にされる学校
- ③ 安全と健康を大切にする学校
- ④ 教職員が専門職としての自覚と高い指導力をもち、協働し、学び合う学校
- ⑤ 家庭・地域と共に歩む学校 「共に育てる 共に育つ」共育の推進

本校の現状と課題

- ・言語活動を充実し、自分で考えたことを表現できる児童の育成を図る。
- ・学習・給食・清掃規律を定着し、落ち着いた学習環境の中での教育活動を推進する。
- ・若手教員の育成を図り、全職員が一体となり、研究発表会を成功させる。

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標 ※ 数値目標が可能な項目について設定する
学習課程・ 学習指導	確かな学力の定着や向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の充実を図り、考えたことを表現する力をはぐくむ。 ・個に応じた学習方法の工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の時間や朝会、言葉遊び・詩の朗読・辞書の活用などの日常指導と国語・算数・社会・図工科を中心に授業の実践を行う。 ・ノートや意見交換の中で理由や根拠を明確にし、思考力・表現力を育成する。 ・単元・学期ごとの評価を分析し、つまずきのある児童は補習を行う。 ・一人一人へのニーズに合わせた発展・補習学習を進める。 ・学級・学年で宿題を出し学習の習慣付けを行い、家庭への啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週2回の言語・読書タイム・年1回の学年発表等の活動を行い、思考力を高める。 ・1日一回の発言・交流により説明させ、学び合う。 ・ノートや机間指導を丁寧に行い、一人一人に支援する。 ・国語・算数(5年)のステップワークを週1回、活用する。 ・オリジナルテストの定着率を80%以上にする。 ・家庭学習は、定着率90%以上にする。 ※ 校内委員会を中心に個別指導の計画を立てる。
生活・ 進路指導	規範意識を高め、人間性・社会性をはぐくむ。	『思いやりプロジェクト』 ・はじめを重視し、心豊かで落ち着いた学校生活にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「時間を守る」「清潔な校内・学級」を全校で徹底する。 ・挨拶を生活指導の重点目標とし、各学年・各階で取り組む。 ・いじめは絶対に許さないことを全職員で徹底する。 ・異学年交流を行い、思いやりやコミュニケーション能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時の着席は、90%以上にする。 ・廊下・教室には、物やゴミがなく清潔な環境をつくる。 ・6・11月の挨拶隊には、学級10人以上が参加する。 ※ 職員が率先して声をかけ、挨拶を広げる。 ・学期1回は、いじめの指導を行い、全職員で根絶をする。 ・月1回のフレンズ班、11月のハッピーフェスティバル以外も低学年とかかわりもち、優しい行動をする。
体力向上・ 保健指導	健康でより良い生活を送る力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活と体を見つめ、自分の健康の課題に気付く。 ・体力づくりを目指した取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計測・姿勢検査・菌の染め出しなどの結果や薬物乱用防止教育を通し、自分をふりかえる時間を確保し、自分の体や健康に目を向ける。 ・食育について給食時や各教科・領域の授業などで推進する。 ・体力テストの結果を分析し、授業に生かす。 ・昨年度からの持久走や縄跳び月間の定着と充実を図り、意欲的に取り組む。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的な生活習慣のよさに気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の計測やワークシートを活用し、自身の健康に気付く。 ・毎月19日を「食育の日」とし、集会・給食時の放送や献立表を活用し指導する。 ・体力テストより課題を把握し、授業の中で指導する。 ・目標をもちカードに楽しんで挑戦し、体力の向上を図る。 ・生活習慣アンケートを実施し、22年度と分析・比較する。
本校の 特色①	『思いやりプロジェクト』 交流教育を推進し、心の教育をはぐくむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校・支援学級との交流を充実させ、理解を深める。 ・国際理解教育を推進し、伝統文化のよさに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学級と通常学級との交流を広げる。 ・副籍交流の充実を図る。 ・調布特別支援学校の友達とかかわり方を考え、思いやりの心をはぐくむ。 ・各自が課題をもち主体的に取り組む、伝統文化のよさに気付く。 ・アメリカンスクールとの交流に意欲的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や週1回の給食交流を実施する。 ・直接交流の児童とは、学期1回交流をもつ。 ・2回の交流の中でよさや個性を認め合う関係づくりを行う。 ・2学期に保護者の協力を得て体験会を実施する。 ・国立能楽堂の協力を得て、本物にふれる。 ・交流の企画とかかわりを通し、将来の夢や希望につなげる。
本校の 特色②	保護者・地域等の力を生かした学校教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や保護者と共に取り組む活動を実施する。 ・研究発表会に支援をいただく。 ・特設クラブに協力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全マップづくり、稲作りなどの体験活動にかかわっていただく。 ・スクールゾーンの見守り、安全面について地域・家庭とともに協力して行う。 ・年度当初の保護者会・学校便り・諸会議で説明をする。 ・サッカーや管楽器、合唱の特設クラブを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が、各学年の授業に年1回以上かかわる。 ・スクールゾーンは、割り振り準備委員を立ち上げる。 また、1年かけてよりよい方向を検討する。 ・地域・保護者の皆様の支援の基に実施する。 ・地域の講師の方々とは毎学期連携をとり、推進する。
校務 運営	組織体としての学校機能の発揮と個々の指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・OJTによる計画的な若手教員の育成と個々の指導力の向上 ・研究発表会に全職員の力を結集させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭による学年協働体制を核に、組織で学校運営にあたる。 ・指導力向上のための授業実践や実技研修に積極的に参加する。 ・各教科で培った成果を授業改善に生かす。 ・協議会の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な一対一対応。「一役一人」を基本に若手を育てる。 ・都や市の研究授業への挑戦、研修参加の奨励をする。 ・1学期までに7本、2学期に全学級が研究授業をする。 ・毎回ワークショップで行い、高め合う。